

第18回情報プロフェッショナルシンポジウム

INFOPRO 2021

参加者募集!

企業・大学・図書館の情報プロが集う最大のイベントです!

メインテーマ 「インフォプロにとってのニューノーマルとは何か」

主催 一般社団法人 情報科学技術協会 (INFOSTA)

協力 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST)

期日 2021年7月1日(木)、2日(金)

開催形式 オンライン
国内初! バーチャル会議プラットフォーム Morressier を活用予定

プログラム (予定)

- ◇ 特別講演
- ◇ 一般口頭発表(知財・図書館・ライフサイエンスなど)
- ◇ OUG ライフサイエンス分科会 公開講座
- ◇ プロダクト・レビュー
- ◇ 情報科学技術協会賞表彰式
- ◇ 情報交流会(検討中)

※ プログラムの詳細は、後日シンポジウム Web サイトに掲載いたします。
<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>

参加費 (予定) 一般 6,600 円、INFOSTA 会員 4,400 円、学生 2,200 円 (税込)

参加申込

- ◇ 申込締切: 2021年6月25日(金)
- ◇ シンポジウム Web サイト (<https://www.infosta.or.jp/symposium-top/>) からお申込みください

☆☆☆シンポジウムに協賛していただける企業・団体を募集します☆☆☆
協賛特典を多数用意しております。詳しくは下記へお問い合わせください。

一般社団法人 情報科学技術協会 INFOPRO2021事務局

〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14 日本図書館協会会館 6階
TEL: 03-6222-8506 FAX: 03-6222-8507 sympo@infosta.or.jp



特別講演

7月1日(木)

「コロナ禍後の社会変化を考える」

岸本喜久雄 先生

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
技術戦略研究センター センター長



昨今のデジタル革命やグローバル化の進展によりイノベーション創出のスピードが加速され、そのさなかで生じた新型コロナウイルスの感染拡大は、AI やリモート技術をはじめとした様々な技術開発の更なる進化を後押ししている。

例えば、コロナ禍のニューノーマルとして、人の密集を避けるためのテレオペレーションとしてのリモート化と自律化技術としてのオートノミーをAI によってスマートに融合する「スマートテレオートノミー」という技術開発の重要性を、NEDO 技術戦略研究センターでは提唱している。本講演では、こうしたコロナ禍後に期待される社会変革の方向性や、今後の展望について議論したい。

7月2日(金)

「大学の現場とニューノーマル(仮題)」

山本佳世子 先生

日刊工業新聞社
科学技術部論説委員兼編集委員



新型コロナウイルス感染症により、大学そして大学と社会の在り方は大変革を迎えています。オンライン授業の浸透で、対面による実習や実験、演習による教育の力を、各大学・教員とも問われるようになっていきます。対面授業の合間にオンライン授業や就職活動が可能なスペースが、300人収容の大規模教室に代わって必要など、大学の施設・設備も変わります。

教員・研究者・職員の生活はテレワークがゲームチェンジャーです。男性の家事分担や、独身者の自己啓発活動など、だれもがバランスのとれた働き方にシフトすることができるそうです。育児女性支援も長期休業など“切り離された”形でなく、テレワークを活用した早期の復帰を期待します。その中で新たな未来構築には、各人の創造性とコミュニケーションが、今まで以上に重要になることでしょう。

特別企画 第 386 回 OUG ライフサイエンス分科会

第 18 回情報プロフェッショナルシンポジウム INFOPRO2021ver.

The「医学文献データベース」 ～ その中身と違いを検証する（海外編）～

【ライフサイエンス分科会について】

INFOSTA の研究活動グループの 1 つ OUG (Online Users Group) ライフサイエンス分科会では、重要な情報検索手段としてのデータベースをより効果的に利用するための課題解決や、データベースに関する知識向上そして検索技術を磨くための研究活動をしています。

参加者はデータベースの利用者だけでなく提供者もいますので、お互いの問題点や要望を伝えることで参加者がそれぞれの立場で改善を図ることも目的としています。

対象は医学薬学分野から広くライフサイエンス分野のデータベースですが、具体的な活動としてはデータベースの勉強会や検索演習のほか、関連サービスの紹介、著作権関連の研修、外部機関の見学会なども行っており、最近はオープンアクセスの話題も含め学術情報全般を幅広く扱っています（活動日は毎月第 3 木曜、年 10 回程度開催。現在はすべてオンライン開催中）。

【今回の特別企画について】

2021 年も特別 Ver. の 3 回目を INFOPRO の中で開催します。特別 Ver. ですので通常の例会では難しい複数データベースの比較研究を行います。2019 年・2020 年は国内編でしたが、今年は海外編へのチャレンジです。対象のデータベースは、普段、何気なく利用している馴染み深いデータベース PubMed そして MEDLINE、EMBASE。ここに GoogleScholar と Cochrane も加えてホットな話題として COVID-19 を取り上げた調査結果を検証します。

思いがけないデータベースの特徴や見落としがちなポイントが見つかるかもしれません。メンバー一同も楽しみにしています。

通常の例会に参加できない方や、文献データベースに興味がある方、多くの皆様には是非ご参加いただき、会の雰囲気や活動内容に触れていただくとともに、データベースに関する理解を深めて今後の活用に役立つ機会となることを期待しています。

ライフサイエンス分科会のページに過去の開催記録や INFOPRO の資料なども掲載しています。 <https://www.infosta.or.jp/research/oug-life/>



プログラム予定

7月1日（木）

一般発表／プロダクトレビュー①

(10:00～11:55)

- SDI への AI 導入による精査の効率化
- 中国特許翻訳情報の検証
- 機械学習における AI クラス分類の精度評価
- 河川の氾濫防止技術に関する特許分析研究
- プロダクトレビュー×2

一般発表／プロダクトレビュー②

(13:15～14:45)

- COVID-19 の非特許文献と特許分析に関する研究
- 自社要素技術を活かせる新規市場を特許分類の共起性を用いて可視化する手法
- 都道府県の官民データ活用推進計画におけるオープンデータの位置付け
- プロダクトレビュー×2

特別講演①

(15:00～16:30)

「コロナ禍後の社会変化を考える」
新エネルギー・産業技術総合開発機構
(NEDO) 技術戦略研究センター長
岸本喜久雄 先生

7月2日（金）

一般発表／プロダクトレビュー③

(10:00～12:10)

- 論文の引用情報を活用した研究トレンド調査
- 書籍の索引は「飾り」ではない！
- コロナウイルス感染症と公共図書館メイカースペース
- メディアドクター研究会ワークショップにおけるニューノーマル
- 高齢者のヘルスリテラシー向上のための教材開発に向けた医療者のインタビュー調査
- プロダクトレビュー×2

公開講座／プロダクトレビュー

(13:30～14:10)

- OUG ライフサイエンス分科会 公開講座
- プロダクトレビュー

特別講演②

(14:20～15:50)

「大学の現場とニューノーマル（仮）」
日刊工業新聞社 科学技術部論説委員兼
編集委員
山本佳世子 先生

INFOSTA 表彰式

(16:00～16:30)